

前橋空襲の悲劇を描く感動のミュージカル

昭和二十年八月五日午後十時三十分爆弾投下
前橋は灰になった・・・あれから 80 年

まえばし市民ミュージカル

灰になった街

2025 年

8月2日（土）調組 / 8月3日（日）奏組

開場 13:00 開演 13:30（終演 17:00頃）

昌賢学園まえばしホール（前橋市民文化会館）大ホール

駐車スペースが少ないため、なるべく公共交通機関をご利用ください



戦後 80 年の節目の年にあたり前橋空襲証言集を差し上げます

料金：大人 2,000 円・高校生以下 1,500 円（全席自由）

未就学児のご来場はご遠慮くださいますようお願い申し上げます

昌賢学園まえばしホールにて販売

電子チケットも販売しています

右のQRコードからお申し込みください



脚本・演出 / 新 陽一

作曲 / 神山 奈々

編曲・演奏 / 菊地 友夏

振付 / 勝見 由佳

主催：まえばし市民ミュージカル実行委員会

共催：前橋市・公益財団法人 前橋市まちづくり公社

協賛： 理研鍛造株式会社・株式会社コシダカホールディングス

後援：群馬県・群馬県教育委員会・前橋市教育委員会・前橋商会議所・上毛新聞社・朝日新聞社前橋総局・読賣新聞社前橋支局・毎日新聞社前橋支局
東京新聞社前橋支局・エフエム群馬・まえばし CITY エフエム・群馬テレビ

お問い合わせ：まえばし市民ミュージカル実行委員会 090-2202-2611（大谷）

昭和 20 年 8 月 5 日午後 10 時 30 分、アメリカ軍機からの照明弾を皮切りに前橋空襲が始まった。前橋市内 20,871 戸のうち 11,460 戸が全焼、58 戸が半焼、535 人が死亡、600 人以上が負傷した。



「灰になった街」のあらすじ

昭和 16 年 12 月、真珠湾攻撃大勝利の報に、日本中は沸き返っていた。それは関東の一角、群馬県前橋市も例外ではなかった。子どもや大人達の活気で賑わいを見せる桑町商店街の人々。日夜研究に明け暮れる理研研究室の研究員達。そして、少女らしい夢を見ながら健気に学校生活を送る前橋高等女学校生達……。しかし、昭和 17 年も半ばを過ぎると戦局はすでに陰りを見せ始め、全ての資源が不足していくだけでなく、人々の生活を瞬間に圧迫していった。

そんな過酷な状況の中、理研研究員達が考え出したのは奇想天外な新兵器だった。昭和 20 年 8 月 5 日夜、B29 の大編隊が前橋の街に襲いかかろうとしている。大混乱に陥る桑町商店街。空襲のさなか、女学生、研究員、街の人々は……。焼け跡の中、彼らに残された希望とは……

本作品は、昭和 20 年 8 月 5 日の前橋空襲の悲劇をテーマとしたミュージカルです。内容はフィクションですが、史実を基に組み立てられています。およそミュージカルらしからぬシリアスな内容ではありますが、笑いあり、涙あり、ロマンスありの楽しく心ときめく場面もあります。

作品に触れていただいた方々の心の中に、今一度、故郷への尊い思いが芽生える、そんな作品になることを祈っています。



※このストーリーの骨格となる、前橋高等女学校、桑町商店街、理研前橋工場、堤ヶ岡飛行場、比刀根橋防空壕などは、いずれも前橋ゆかりの地です。

※理研前橋工場は、実在の軍需工場でしたが、風船爆弾他の秘密兵器を開発したのは史実ではなく、純然たるフィクションです。

2025 年
8 月 2 日（土）調組 / 8 月 3 日（日）奏組
開場 13:00 開演 13:30 終演 17:00 頃
（ダブルキャスト 2 回公演）

未就学児のご来場はご遠慮くださいますようお願い申し上げます

前橋空襲証言集を差し上げます

前橋空襲から 80 年という区切りの年の開催となりました。そこで出演者が集めた空襲の証言をまとめました。約 100 ページにわたる小冊子をご来場の皆様にお配りします。空襲を生き延びた約 30 名の生の声をぜひお読みください。

電車の場合 JR 両毛線・前橋駅から徒歩 8 分

前橋駅南口を出て南へ直進、二つ目の信号「南町三丁目」を右折し、約 50 メートル歩いた左側です。

自動車の場合 関越自動車・前橋 IC より 20 分

国道 17 号を「前橋方面」に進み、利根川の「群馬大橋」を渡り、前橋・玉村線との合流点である「表町一丁目」交差点を右折、JR 両毛線高架下を通り、最初の信号を左折すると会館です。

駐車スペースが少ないため、なるべく公共交通機関をご利用いただくか、乗り合わせてご来場くださいますようお願い申し上げます。



お問い合わせ：まえばし市民ミュージカル実行委員会 090-2202-2611（大谷）